

CREATOR 2D Ver.8.5 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.8.5 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.8.0 からの差分です)

1.2 次元汎用機能

1. 対応 OS

Ver.8.5 より、Windows XP 64 エディションに対応しました。
本バージョンの対応 OS 一覧を以下にまとめます。

OS 名称	動作保証	備考
Windows 3.1	×	サポート対象外 OS
Windows 95	×	サポート対象外 OS
Windows 98	×	サポート対象外 OS
Windows Me	×	サポート対象外 OS
Windows NT 4.0	×	サポート対象外 OS
Windows 2000	○	Professional 日本語版
Windows XP 32	○	Professional 日本語版
Windows XP 64	○	Professional 日本語版
Windows VISTA	×	未対応 使用できません

Windows XP 64 ビット Professional をご利用の場合、32 ビットアプリケーションとしての動作保証となります。
本システムに関連するドライバー類（プロテクタ、IMG プリンタ）は 64 ビット版となります。

CREATOR 3D (KeyCreator) は、Windows XP 64 の動作保証はされていません (クボテック社)。2D、3D を使う場合はご注意ください。

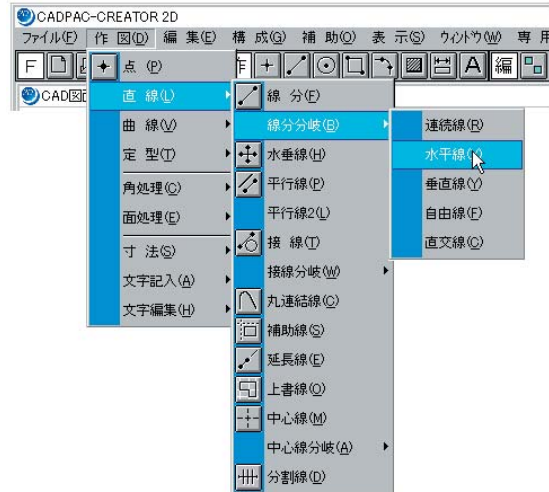
Windows XP 64 ビット Professional をご利用の場合、連携する他社アプリケーションが 64 ビットネイティブプログラムの場合、正しく動作しない場合があります。(SolidWorks インターフェースなど)

Windows2003 サーバーは、本システムのネットワークライセンスサーバーとしての利用は可能ですが、CAD クライアントとしてインストールする場合は、サポート対象外 OS となります。

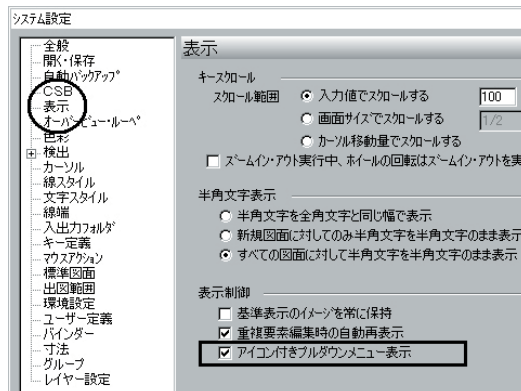
Windows VISTA は、本システム Ver. 8.5 リリース時にマイクロソフト社より正式発売されておらず、未対応 OS です。本システムはご使用できませんのでご注意ください。

2. プルダウンメニュー アイコン付き

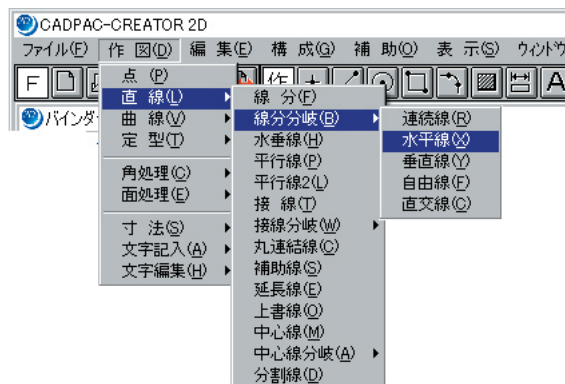
プルダウンメニューにアイコンを表示させる機能が付加されました。
アイコン付きプルダウンメニューが本システムの初期値となります。



従来型のプルダウンメニューへ切り替えることも可能です。
[補助 - システム設定 - 表示] で行います。

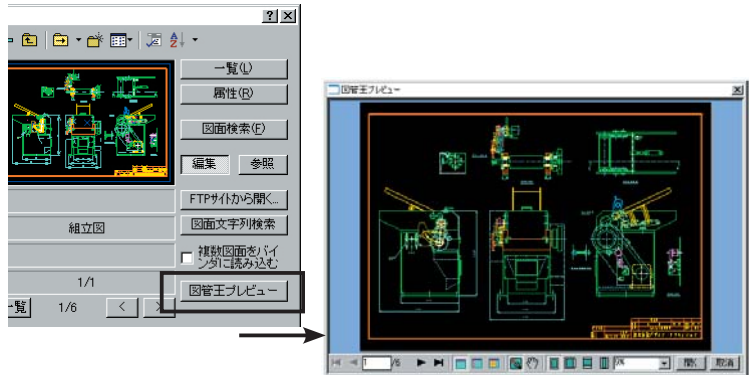


従来型プルダウンメニュー



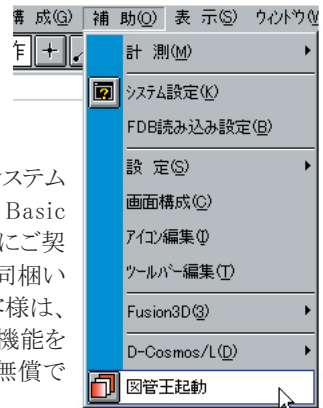
3. 開く

開くのダイアログボックスに、図管王プレビューボタンを追加しました。図管王で登録されている図面データは、専用のウィンドウで拡大表示をしてみることができます。[ファイル / 開く]



4. 図管王起動

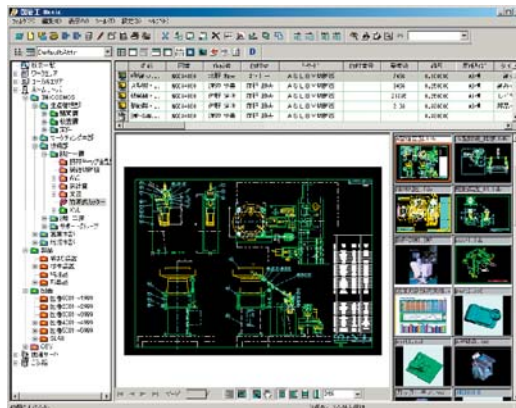
[プルダウンメニュー / 補助] に図管王起動コマンドを追加しました。図管王がインストールされている場合、図管王を起動します。[補助 / 図管王起動]



5. 図管王

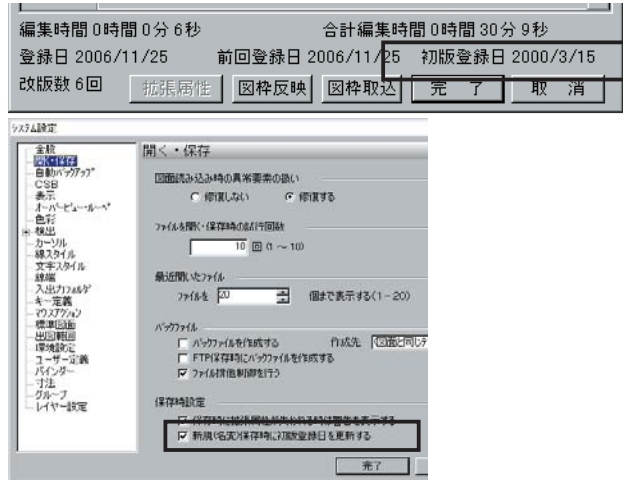
図管王は、2D/3D 図面・文書管理システムです。本システム送付時に、「図管王 Basic Ver.1.0」の CD-ROM を、フォーラムにご契約いただいているすべての皆様方に同梱いたしました。図面管理でお悩みのお客様は、ぜひインストールして図管王の優れた機能をお試しください。フォーラム期間内は無償でご利用いただけます。

ユーザー登録をしていただくことにより、2007年8月までは、フォーラム期間にかかわらずご利用いただけます。期間経過後は、2万円/年で継続利用が可能です。



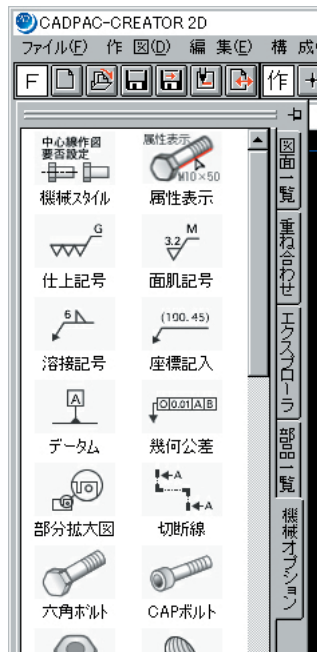
6. 新規（名変）保存

既存図面を編集し、新規（名変）保存をした場合、システム設定 - 開く・保存にチェックを追加し、図面属性の「初版登録日」を当日の日付にできるようにしました。〔補助 / システム設定 / 開く・保存〕



7. ツールビュー

本システムの起動時に、ツールビューの機械オプションの画像イメージを読み込むようにして、ツールビューの機械オプションに切り替えた時に、すぐに表示するようにしました。



8. レイヤー設定

プルダウンメニューの「編集-レイヤー操作」にコマンドとしてあったレイヤー設定を「システム設定-レイヤー」に移動しました。

また、以下の新しいチェック機能を追加しました。

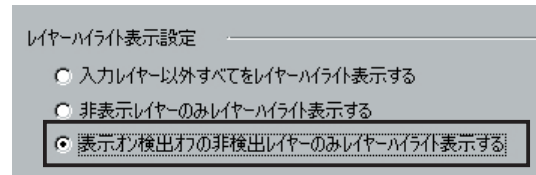
- ・表示オン検出オフの非検出レイヤーのみハイライト表示するチェック（右パネルのレイヤー表示で水色表示されたレイヤーをハイライト）
- ・レイヤー分解の移動機能で、レイヤー名称も移動する。

[補助 / システム設定 / レイヤー]

9. レイヤーハイライト表示

「入力レイヤー以外全てを非表示レイヤーにする」をオンにした場合、非表示レイヤーはハイライトしない（検出レイヤーのみハイライト）モードを追加しました。システム設定 / レイヤーにて設定します。

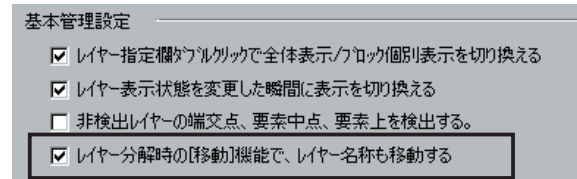
[補助 / システム設定 / レイヤー]



10. レイヤー分解 名称移動

レイヤー分解の「移動」コマンドで、レイヤー名称も同時に移動できるようにしました。システム設定 / レイヤーにて設定します。

[補助 / システム設定 / レイヤー]

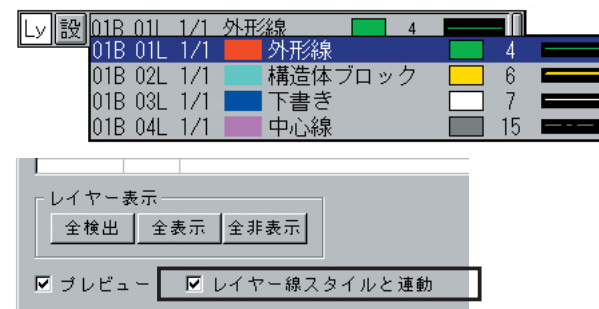


11. レイヤー操作ツールバー

レイヤー操作のツールバーに、レイヤー設定されている線種、線幅等を表示するようにしました。

表示させるには、レイヤーツールバーの設定から、ダイアログボックスを開き、「レイヤー線スタイルと連動」にチェックを入れます。

[レイヤー操作ツールバー]

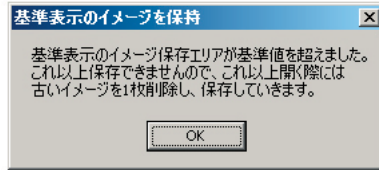


12. 基準表示 イメージ保持

基準表示のイメージ保持は、ビットマップデータとしてオンメモリ上に保存されます。このため、大量の枚数の図面を開いた場合、Windowsの制限でオンメモリ上に保存できなくなる場合があります。

このような状態になった時は、他の図面ウインドウのイメージを1枚削除し（もっとも古いもの）、今回分を保持するようにしました。

バッファをオーバーした場合、以下のダイアログボックスを一度だけ表示し、以降はこのメッセージを表示しません。



また基準表示のイメージを保持にチェックを入れた場合、表示高速化のため、キーボードからの再表示（Pegeup2回）は使用できません。再表示が必要な場合は、プルダウンメニュー [表示 / 再表示] からコマンドを選択してください。[補助 / システム設定 / 表示]

13. DXF/DWG 出力

文字の表示設定で、【半角文字を全角文字と同じ幅で表示】に設定している場合、DWG/DXF出力した時は、すべて全角で出力するようにしました。[ファイル / 外部出力 / DXF/DWG]

14. MCAD 入出力

MCAD 入出力で、以下の項目の機能追加をしました。

[ファイル / 外部入出力 / MCAD]

1. オーバーレイ図面対応

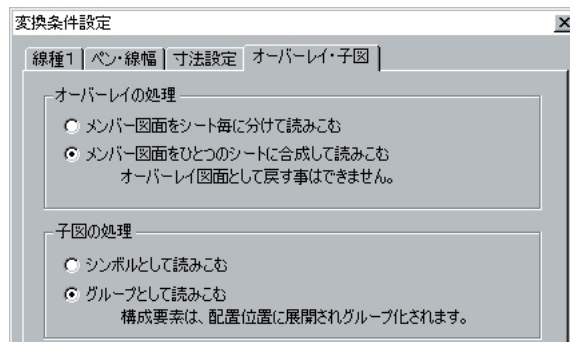
オーバーレイ図面をバインダーのシートとして読み込み、関係を保持するようにしました。出力の際もオーバーレイとして出力できます。システム設定により従来型との切り替えが可能です。

2. 子図のシンボル対応

子図をシンボルとして読み込む機能を追加しました。従来型のグループで読み込むか、シンボルで読み込むかを設定できます。

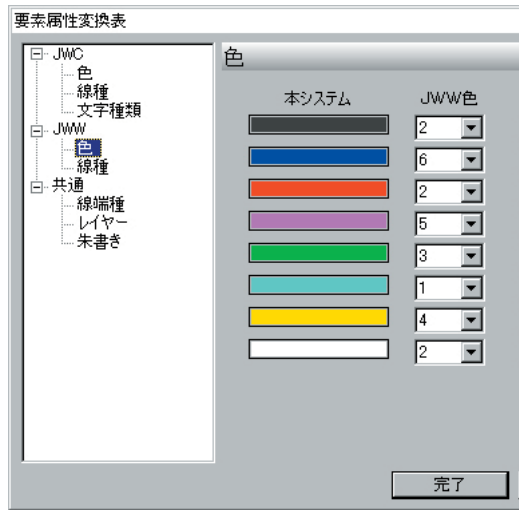
3. 寸法グループ

平行寸法の外寸を本システムの外寸として認識できるようにしました。



15. JW_CAD JWW 出力

JW_CAD 出力で、*.JWW 形式の出力に対応しました。JWW の出力バージョンは、3.51 です。[ファイル / 外部出力 / JW_CAD]



16. 図面文字列検索

図面文字列検索で、検索ヒットした図面をあらかじめフォーカスオンにして、開くボタン一回ですべての図面を開けるようにしました。[ファイル / 文字列検索]



17. 連続出力

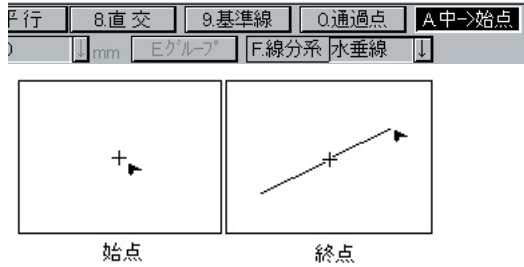
出図コマンドで指定したトレイへ出力するようになりました。[ファイル / 連続出力]

18. 図枠呼出

図枠呼出コマンドで、FDD ファイルに対応しました。FDD ファイルの図枠は最初の 1 シートのみが図枠として保存されます。他のシートは図枠保存の際、保存されません。[構成 / 図枠 / 図枠呼出]

19. 線分 中心点モード

線分コマンドに中心点から作図するモードを追加しました。
[作図 / 直線 / 線分]



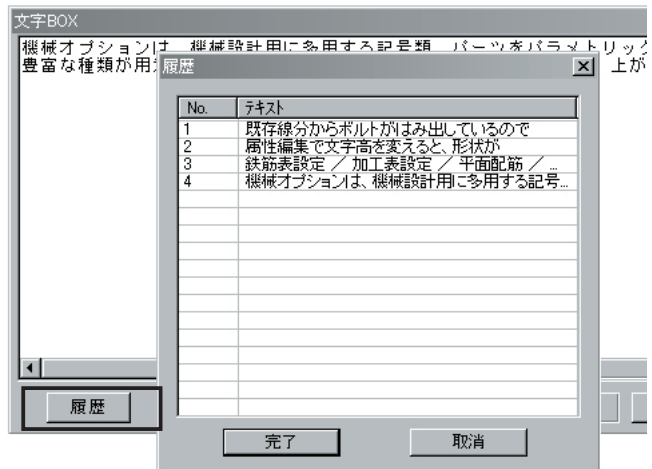
20. 文字

文字コマンドに以下の機能を追加しました。[作図 / 文字記入 / 文字]

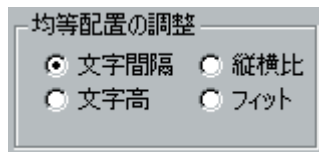
1. 文字の日付作成でピリオドで区切る。



2. 文字ボックス大で履歴を保持する。



3. 均等配置の際に文字高も自動的に調整して均等配置する文字設定ダイアログボックスより指定します。



文字数 × 文字幅 + (文字数 - 1) × 文字間隔 = 文字列長さ
 文字数 × 文字高 × 縦横比 + (文字数 - 1) × 文字間隔 = 文字列長さ

文字間隔 $\text{文字間隔} = (\text{文字列長さ} - \text{文字数} \times \text{文字高} \times \text{縦横比}) / (\text{文字数} - 1)$

文字高 $\text{文字高} = (\text{文字列長さ} - (\text{文字数} - 1) \times \text{文字間隔}) / (\text{文字数} \times \text{縦横比})$

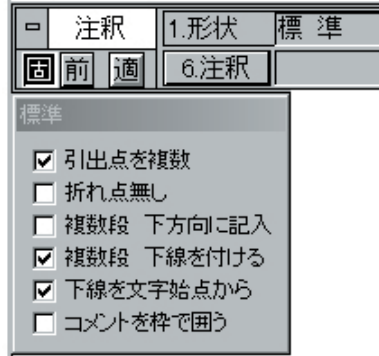
縦横比 $\text{縦横比} = (\text{文字列長さ} - (\text{文字数} - 1) \times \text{文字間隔}) / (\text{文字数} \times \text{文字高})$

フィット $\text{文字高} = (\text{仮想矩形の高さ} \div \text{文字列})$ とし、縦横比を計算する

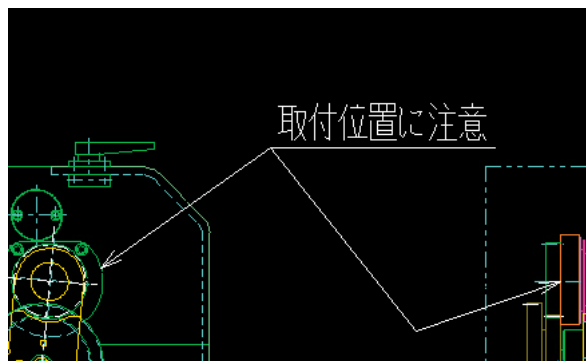
半角 全角 文字BOX入力 半角 文字BOX入力 全角

21. 注釈

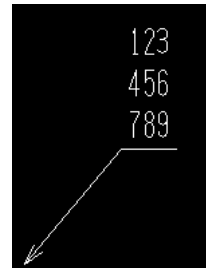
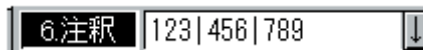
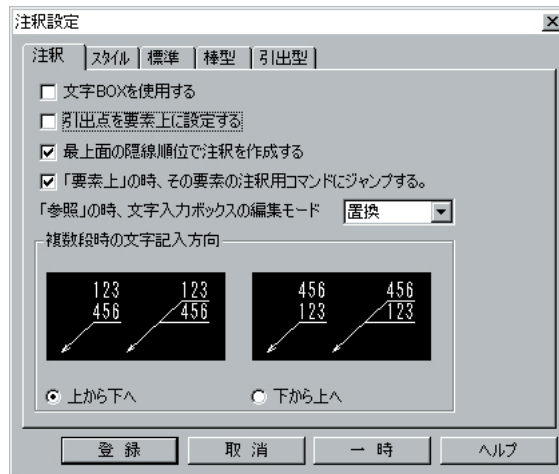
注釈コマンドに以下の機能を追加しました。[作図 / 文字記入 / 注釈]



1. 引出点を複数



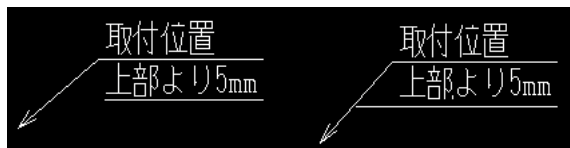
2. 複数段の文字記入方向 上から下を追加



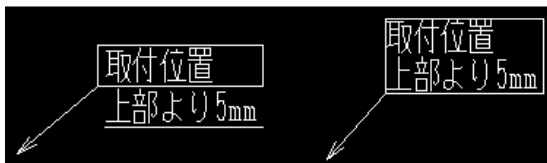
3. 下線を付ける / 付けないを追加



4. 下線を文字始点に合わせるモードを追加



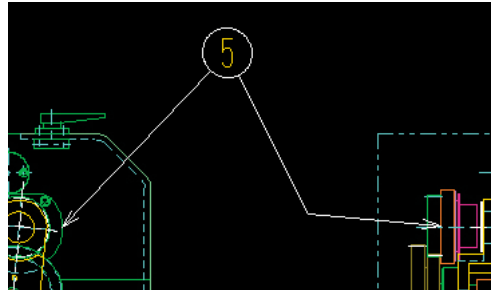
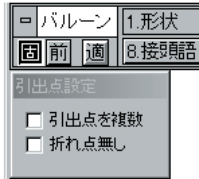
5. コメントを枠で囲うモードを追加



22. バルーン

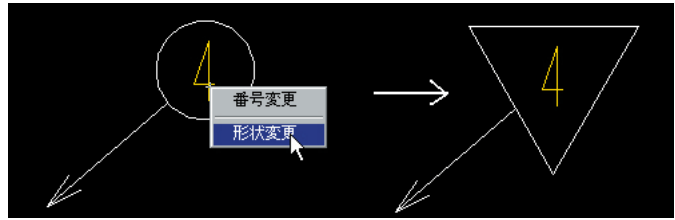
バルーンコマンドに以下の機能を追加しました。
[作図 / 文字記入 / バルーン]

1. 引出点を複数



2. バルーン形状の変更

CSBの「変更」ボタンで、作図したバルーンの形状を変更できるようにしました。文字部分をマウス左ボタンでクリックします。



23. 基準寸法 2

基準寸法 2 のポップアップメニューに以下の機能を追加しました。
[作図 / 寸法 / 基準寸法 2]

1. 前回高さ位置のチェックオンオフの保存
2. 階層化されていた折れ点指定を上位に移動しました。



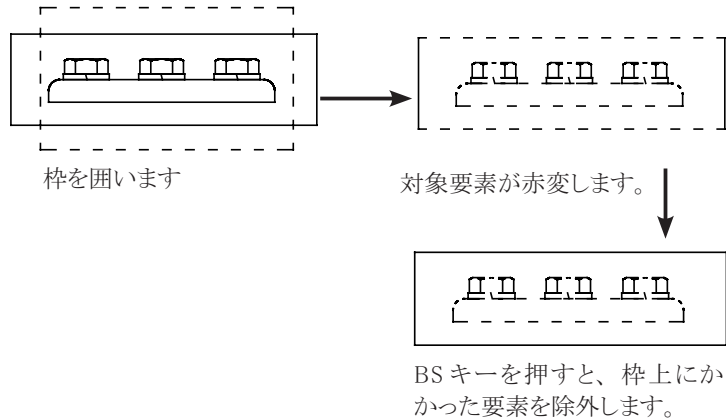
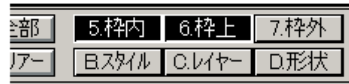
24. HELP のアイコン

ツールバーにオンラインヘルプのアイコンツールバーを追加しました。



25. 枠選択

5. 枠内 6. 枠上をオンにして要素を検出した際に、[BS キー] で枠上にかかった要素のみを検出条件から外します。
再度、[BS キー] を押すことにより、元の検出状態に戻ります。
入り組んだ図面で、BS キーを押すことにより、不要な要素をワンタッチで外せ、目的の要素のみを検出させることができます。



26. リンク

リンクコマンドのCSBに「変更」「削除」ボタンを追加しました。
従来は、ALT キーや SHIFT キーを押しながら設定していました。
ボタン追加により、リンク削除機能で、複数リンクがある要素を選択する際、リンク選択ポップアップメニューの表示ができない問題を解決しました。(Windows 内部で、ALT キーはポップアップメニューを閉じる処理とみなすため、ポップアップメニューの表示ができない)
[編集 / 複写 / リンク]

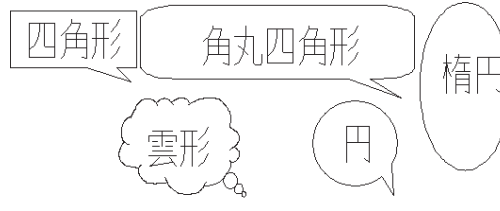


2 お試しコマンド

27. 吹き出し

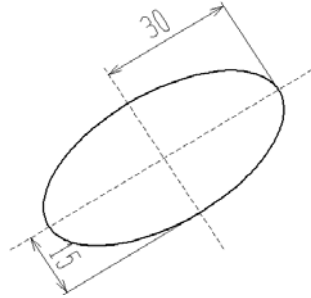
吹き出しを作図するコマンドです。四角形、角丸四角形、楕円、雲形、円の5種類が用意されています。文字、線スタイルの設定により、サイズや色などを任意に変更することが可能です。

[ヘルプ / お試し / 吹き出し]



28. 楕円寸法

楕円寸法は長軸寸法、短軸寸法、角度寸法をワンタッチで作図するコマンドです。モードの指定またはパラメータの設定により、各種の形状を作図することが可能です。[ヘルプ / お試し / 楕円寸法]

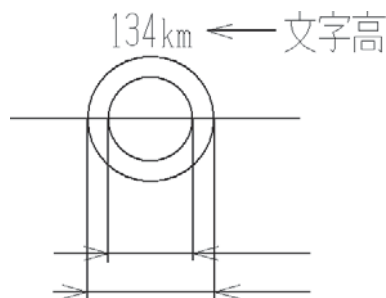
29. 土木オプション幾何線形
ASP 取込

本システムの土木オプション / 幾何線形図形上に MTC 社の道路・鉄道線形計画システム APS-Mark IV Win のファイル形式（中間点テキスト、拡張子 txt）から出力されたデータより、鉄道様式のキロ程表示を作図します。幾何線形オプションをご利用のお客様のみお使いいただけます。[ヘルプ / 幾何線形 / ASP 取込]

30. 土木オプション幾何線形
キロ程拡縮

本システムの土木オプション / 幾何線形図形上に、MTC 社の道路・鉄道線形計画システム APS-Mark IV Win のファイル形式（中間点テキスト 拡張子 txt）にて出力されたデータより「APS 取込」コマンドにて作成したキロ程表示（鉄道様式）を拡大縮小するコマンドです。幾何線形オプションをご利用のお客様のみお使いいただけます。

[お試し / お試し / 幾何線形 / キロ程拡縮]



3 機械オプション

1. 属性表示

部品図の要素にカーソルを近づけると、部品名・呼び径・ピッチ・長さ等をガイドチップで表示します。

属性表示する部品は以下の通りです。

「六角ボルト」「CAP ボルト」「ナット」「タップ」「なべ小ねじ」「丸小ねじ」「皿皿小ねじ」「皿小ねじ」「止めねじ」「穴作図」「ざぐり」「皿ざぐり」「C 形止め輪」「C 形同心止め輪」「E 形止め輪」「グリップ止め輪」「軸受けナット」「軸受け座金」「JIS 機械パーツ」
[オプション / 機械 / 機械定型1]



2. 皿ばね座金

CAP ボルト作図時に「皿ばね座金」が作図できるようになりました。軽荷重用と重荷重用の皿ばね座金を作図できます。

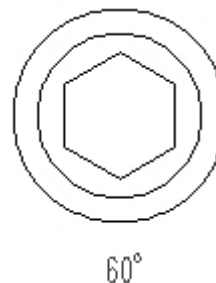
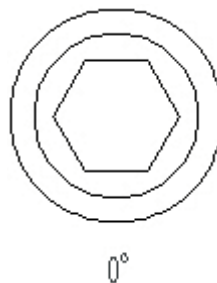
皿ばね座金は JIS B 1251 を適用し、種類は 2 種採用しています。

[オプション / 機械 / 機械定型1]



3. 六角ボルト、CAP ボルト

ボルト頭部の傾きを変更するには設定ダイアログを開く必要がありましたが、今回のバージョンアップで CSB から傾きを変更することが可能になりました。[オプション / 機械 / 機械定型1]



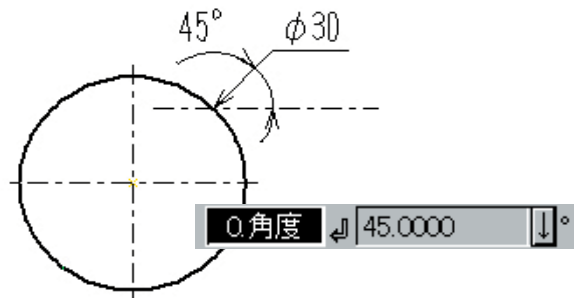
4. 仕上記号

記号の大きさや個数などをパターンとして登録し、任意に呼び出せるようにしました。また、区切り点にカンマが使用できるようにしました。
[オプション / 機械 / 機械記号]



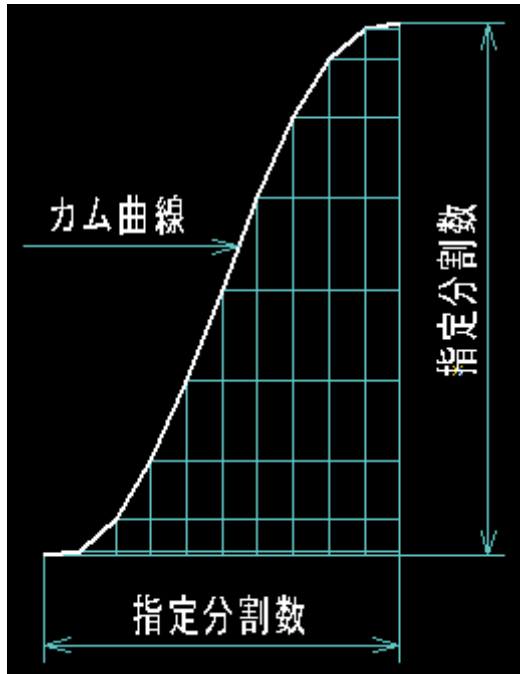
5. 機械オプション注釈

「皿ざぐり注釈」「穴注釈」「タップ注釈」「ざぐり注釈」の4つのコマンドに角度入力が追加されました。引出線の角度を数値入力によって編集することができます。指定の角度と水平、垂直を含め8ヶ所の引出し方向から選択できます。[オプション / 機械 / 機械定型3]



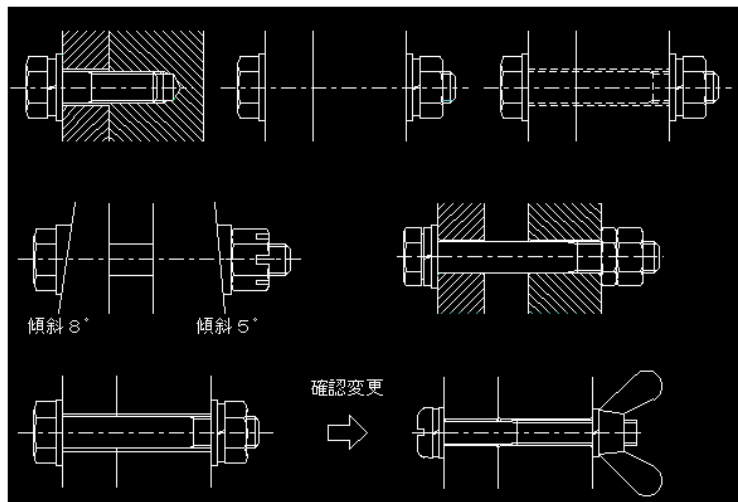
6. カム曲線

カム曲線は、前バージョンコマンドの「変形正弦」を大幅に機能拡張したコマンドです。カム設計に用いられる曲線を直線近似にて作図します。標準で3種類、ユーザ名指定で7種類のカム曲線が作図できます。[オプション / 機械 / 機械定型4]



7. 組合せねじ

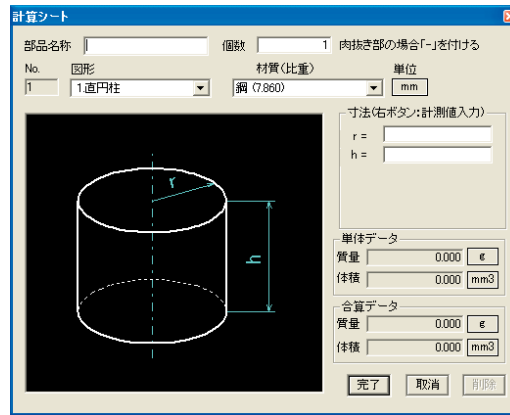
前のバージョンでお試しコマンドだった「組合せねじ」を標準コマンドとして登録しました。メニュー位置は、オプション / 機械 / 機械定型1にあります。[オプション / 機械 / 機械定型1]



4 機械オプション お試しコマンド

8. 質量体積計算

質量体積計算は、本バージョンより、お試しコマンドに登録されました。1図面に複数ある各種形状の部品を、個別計算と同時に合計の計算をして「合計値文字化」、「作表」、「EXCEL 出力」します。各部品の寸法値入力は直接入力する「キー入力」と図面から「作図寸法」を計測する2つの方法があります。質量の計測単位を mg、g、kg、ton また体積単位を mm³、cm³、m³、km³ に切替えることができます。機械オプションライセンスをお持ちの方はご試用いただけます。
[ヘルプ / お試し / 質量体積計算]



9. 新 幾何公差

JIS B 0021:1998 版規格の幾何公差を作図します。公差記号・接頭語・公差・付加記号・データム・全周記号・特別指示・品質指示等が作図できます。本幾何公差は従来の幾何公差に対し、最新 JIS に則り機能を追加したものです。機械オプションライセンスをお持ちの方はご試用いただけます。
[ヘルプ / お試し / 新・幾何公差]



5 JIS 機械パーツ

1. 総部品点数

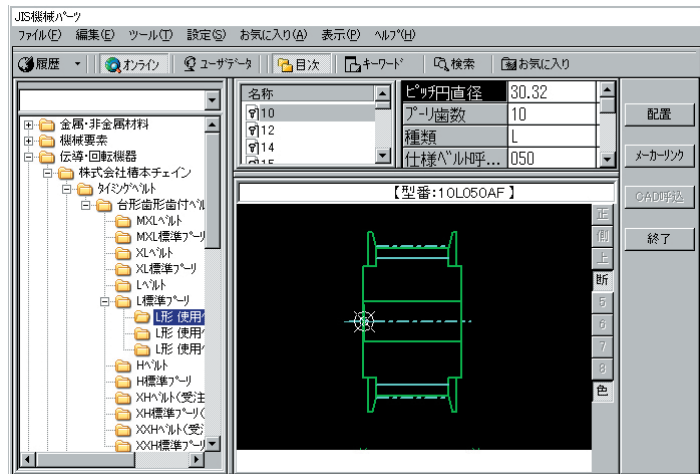
本バージョンでの部品点数は 49 万点に拡張されました。

最新の JIS 機械パーツ部品が登録されている CD-ROM を同梱しておりますので、インストールの上ご利用ください。

JIS パーツをオンラインでご利用のお客様は、インストールする必要はありません。最新部品の一覧は、以下の URL から参照ください。

<http://www.dcrea.jp/online/jis/new/>

[オプション /JIS 機械パーツ]



6 新オプション 外部データ貼り付け

1. 概要

本バージョンより、新しいオプションとして、「外部データ貼り付けオプション」が追加されました。

外部貼り付けオプションは、従来の「カラーラスタライต์オプション」では不可能だったカラー画像を複数枚貼り付けることが可能です。

また、WORD、エクセル、パワーポイント、PDF のページや部分を切り取って貼り付けることも可能です。

ラスタ画像を複数貼り付けたい、MS-OFFICE のドキュメントをそのまま CAD 図面に貼り込みたいという必要がある際は、外部データ貼り付けオプションの導入をご検討ください。

[オプション / 外部データ貼り付け]

2. 保存拡張子 FDE

外部データ貼り付けされた図面は、*.FDE という拡張子で保存します。FDE は、本システム Ver.8.5 より外部データ貼り付け用にサポートされた拡張子ですので、外部データオプションを使用しない場合は、従来の FDC または FDD にてご利用ください。

通常の図面を FDE として保存することは可能ですが、下位バージョンでは、読み込むことができません。

7 FUSION 3D

新たに追加された項目はありません。

本バージョンは、CREATOR 2D Ver.8.5 とマッチングしたバージョンとなっています。

8 2D 標準サンプルデータ

マウスパッド用のデザイン図面を追加しました。

文字修正で、項目変更も可能です。

ファイル名：mouse_pad_design.fdd

